

第4回計画検討部会資料

令和2年10月5日

資料2

計画素案修正箇所 (一覧)

修正箇所	修正前	修正後	備考								
施設入所者調査 表タイトル部分 26ページ	本人の地域生活を支える環境面においては、夜間や緊急時の支援に不安を感じているほか、一度退所すると再入所できないのではないかと、不安を感じている方が多く、これらが退所に向けた問題点となっていることがうかがえます。	本人の地域生活を支える環境面においては、夜間や緊急時の支援に不安を感じているほか、一度退所すると再入所できないのではないかと、不安を感じている方が多く、これらが退所に向けた課題となっていることがうかがえます。	第3回検討部会 原田委員意見								
成果目標③ 札幌市の第5期計画の目標と進捗状況 36ページ	<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況> 2020年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2016年度の移行実績444人の1.5倍(666人)とすることを目指しました。(国の基本指針と同じ1.5倍)。 <table border="1" data-bbox="519 793 1463 911"> <tr> <th>2020年度末までの目標</th> <th>2019年3月31日時点の実績/進捗率</th> </tr> <tr> <td>666人</td> <td>585人 / 87.8%</td> </tr> </table>	2020年度末までの目標	2019年3月31日時点の実績/進捗率	666人	585人 / 87.8%	<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況> 2020年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2016年度の移行実績444人の1.5倍(666人)とすることを目指しました。(国の基本指針と同じ1.5倍)。 <table border="1" data-bbox="1519 793 2460 911"> <tr> <th>2020年度末までの目標</th> <th>2020年3月31日時点の実績/進捗率</th> </tr> <tr> <td>666人</td> <td>621人 / 93.2%</td> </tr> </table>	2020年度末までの目標	2020年3月31日時点の実績/進捗率	666人	621人 / 93.2%	2019年度実績 (北海道調べ) による更新
2020年度末までの目標	2019年3月31日時点の実績/進捗率										
666人	585人 / 87.8%										
2020年度末までの目標	2020年3月31日時点の実績/進捗率										
666人	621人 / 93.2%										
成果目標③ 札幌市の第6期計画の目標 37ページ	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績(見込み)505人の1.12倍(564人)とすることを目指します。 2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を2019年度の移行実績(見込み)324人の1.05倍(341人)とすることを目指します。(新規) 2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績(見込み)87人の1.10倍(95人)とすることを目指します。(新規) 2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績(見込み)94人の1.36倍(128人)とすることを目指します。(新規) ※波線部は2019年度実績(北海道調べ)集計後に更新予定	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績621人の1.01倍(630人)とすることを目指します。 2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を2019年度の移行実績424人の0.91倍(390人)とすることを目指します。(新規) 2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績87人の1.15倍(100人)とすることを目指します。(新規) 2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績110人の1.27倍(140人)とすることを目指します。(新規) 									
成果目標③ 目標設定の考え方 37ページ	2016～2018年度の各サービス利用者数に占める一般就労移行者数から算出した年平均就労移行率が今後も続くと見込み、2019～2023年度のサービス利用者数に年平均就労移行率を乗じ、サービスごとの一般就労移行者数を推計しました。	2017～2019年度の各サービス利用者数に占める一般就労移行者数から算出した年平均就労移行率が今後も続くと見込み、2020～2023年度のサービス利用者数に年平均就労移行率を乗じ、サービスごとの一般就労移行者数を推計しました。									

修正箇所	修正前	修正後	備考																
障がい児支援サービス 53ページ	障がいのある子どもの発達を支援するため、児童福祉法に基づく障がい児支援を充実させていきます。	障がいのある子どもの発達を支援するため、児童福祉法に基づく障がい児支援を充実させていきます。 また、児童発達支援センターを地域における中核的支援施設としながら、関係機関連携のもと、一人ひとりの障がいの状況に応じた適切な支援の実施を図るとともに、重層的な支援体制づくりを進めていきます。	第2回検討部会 北川委員意見																
[4] 成年後見制度利用支援事業 66ページ	[4] 成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申立てが期待できない知的障がいのある方、精神障がいのある方について、市長が申立てを行い、費用を負担して成年後見制度の利用を支援します。 <table border="1" data-bbox="599 856 1415 976"> <thead> <tr> <th>たんい単位</th> <th>ねんど 2021年度</th> <th>ねんど 2022年度</th> <th>ねんど 2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>じつりようにんずう 実利用人数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度	じつりようにんずう 実利用人数	5	5	5	[4] 成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申立てが期待できない知的障がいのある方、精神障がいのある方について、市長が申立てを行い、費用を負担して成年後見制度の利用を支援します。 <table border="1" data-bbox="1596 856 2412 976"> <thead> <tr> <th>たんい単位</th> <th>ねんど 2021年度</th> <th>ねんど 2022年度</th> <th>ねんど 2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>じつりようにんずう 実利用人数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度	じつりようにんずう 実利用人数	16	16	16	第3回検討部会 荒川委員意見
たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度																
じつりようにんずう 実利用人数	5	5	5																
たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度																
じつりようにんずう 実利用人数	16	16	16																
11 その他の社会参加に係る支援 76ページ	障がいのある方の地域における社会参加を促進するためには、多様なニーズを踏まえた支援が必要です。障がいのある方が、文化芸術を鑑賞する機会または創造や発表等の多様な活動に参加する機会を創出したり、視覚等に障がいのある方の読書環境の整備・充実を図ります。	障がいのある方の社会参加において就労は重要な要素のひとつであり、障がいのある方の雇用促進や職場定着に向けた支援が必要です。 また、障がいのある方の地域における社会参加を促進するためには、多様なニーズを踏まえた支援が必要です。障がいのある方が、文化芸術を鑑賞する機会または創造や発表等の多様な活動に参加する機会を創出したり、視覚等に障がいのある方の読書環境の整備・充実を図ります。 ■ 障がい者就業・生活相談支援事業 障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して「ジョブサポーター」や支援員による雇用促進・職場定着支援を図ります。 <table border="1" data-bbox="1519 1768 2427 1948"> <thead> <tr> <th>たんい単位</th> <th>ねんど 2021年度</th> <th>ねんど 2022年度</th> <th>ねんど 2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そうだんけんすう 相談件数</td> <td>29,500</td> <td>29,500</td> <td>29,500</td> </tr> <tr> <td>しゅうしょく むす 就職に結びついた人数</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度	そうだんけんすう 相談件数	29,500	29,500	29,500	しゅうしょく むす 就職に結びついた人数	140	140	140	第3回検討部会 重泉委員意見				
たんい単位	ねんど 2021年度	ねんど 2022年度	ねんど 2023年度																
そうだんけんすう 相談件数	29,500	29,500	29,500																
しゅうしょく むす 就職に結びついた人数	140	140	140																

だい かいけんとうぶ かい い こう あら つい か か しよ
第3回検討部会以降、新たに追加した箇所

ついかかしよ 追加箇所	
だい しょう えすでいーじーず じぞくかのう かいほつもくひょう かんけいせい 第1章 SDGs（持続可能な開発目標）との関係性	
12ページ	
だい しょう けいかく すいしんたいせい 第5章 計画の推進体制	
79-81ページ	
だい しょう しりょうへん 第6章 資料編	
81-84ページ	